

## 被表彰実践校・図書館・団体（個人）の紹介

### 津市立一身田小学校

読書活動を教育活動の重点の一つとして位置づけ、図書館教育推進計画や図書館教育年間指導計画を策定し、学校図書館の活用や読書活動の推進に向けて、教職員、司書教諭、学校図書館司書、図書館ボランティアが組織的かつ継続的に取り組んでいます。

読んだ本の感想や内容を要約して書く全校的な取組や月1回の公共図書館団体貸出を利用して資料を収集し、学校図書館とともに図書館も学習に活用しています。

また、学校図書館司書と図書館ボランティアが中心となり、本の読み聞かせやおはなし会、図書館まつりなど、魅力的な図書館環境を整えるとともに、家族で本を読む週間を設定し、家庭での読書活動の推進や、読み聞かせ団体との協同など、地域との連携も進めています。

### 亀山市立亀山東小学校

図書館指導年間計画により、全教職員が共通認識を図り全校体制で指導を行っています。また、司書教諭が中心となり、図書委員会とともに計画的に図書館運営を行うとともに、司書教諭、学校司書、図書館スタッフとも連携し、読書活動を推進しています。

平成27年度「課題解決に向けた主体的・共同的な学びの推進事業」における「言語活動の充実に関する実践研究」（県事業）により、並行読書、ブックトーク、調べ学習を中心として、授業と図書館との連携を進めています。

司書教諭、学校司書、図書館スタッフによる各教室での定期的な読み聞かせや図書委員会による読み聞かせを行うとともに、学校司書や図書館スタッフの図書館への常駐による貸し出し体制の整備も行っています。

### 三重県立龔学校

近隣の公立図書館から借用した本を各クラスの学級文庫として貸し出したり、来校する保護者に図書館を開放し、聴覚障がいや手話に関する本を貸し出ししたりするなど、地域と結びついた図書館活動を行っています。

また、授業においては、図書館での調べ学習を積極的に取り入れるとともに、高等部の生徒が幼稚部の児童に対して手話を使った絵本の読み聞かせを行うなど、効果的に日本語を習得できるよう取組を行っています。さらに、新聞を活用した学習や朝の読書活動などにも取り組んでいます。

これらの成果として、一人あたりの平均貸出冊数は6年連続して三重県で1

位（約84冊 平成26年度結果）となっています。

### 伊勢市立伊勢図書館

地域のボランティア団体や幼稚園・保育所から大学までの学校等関係団体と長年にわたり連携しています。（例：地域ボランティアや大学生ボランティア団体による「おはなし会」開催、図書館で廃棄対象となった児童書を学校図書館等で再利用）

幼少から本に親しむことや、親子のコミュニケーションを目的とした「あかちゃんえほんのじかん」や講師を招いての「絵本と子育て講座」にて、子どもへの絵本の読み方や、接し方を学ぶイベントを定期的を実施しています。

また、学校やショッピングセンター等で出張ブックトークを行う等、活動の幅を広げるとともに、子どもたちの休み期間に合わせて「図書館探検」「調べ学習講座」等の特別なイベントを開催しています。

さらに、市立図書館と学校図書館のスタッフにより意見交換会を行い、協力しやすい関係を築いています。

### 語りの会「どっこいしょ」

四日市市立図書館で行われたストーリーテリング講座の受講生により平成元年に結成した団体です。

図書館をはじめ、市内の児童館や小学校、保育園・幼稚園等、高齢者通所介護施設等で「おはなし会」を行っています。特に、市内のある小学校では、各学年の発達段階に応じた「おはなし会」を行い、卒業時に6年間に聞いた「おはなし」の一覧を渡しています。

月1回、勉強会を開催するとともに、三重県おはなし交流会、東海おはなし交流会へ定期的に参加し、他のグループのおはなしを聞くなど技術の向上に努めるとともに、交流を通じて講座等の企画方法についても学んでいます。また、ストーリーテリング講座を開催するなど、ストーリーテリングの普及にも努めています。